

岐阜県で豚コレラの疑似患畜を確認 (豚2例目)!

11月16日、岐阜県岐阜市の畜産センター公園において、豚コレラの疑似患畜が確認されました。豚での確認は2例目となります。

また、岐阜県においては、野生いのししからの豚コレラウイルス検出事例が続いています(11月15日時点で49頭)。

発生の概要

◆発生施設

- ・岐阜県岐阜市 畜産センター公園(1例目の発生農場から約8km離れた農業公園)
- ・肥育豚2頭(4~5か月齢)、子豚21頭(約1か月齢)を飼養

◆経過

- ・11月15日、畜産センター公園から体調不良豚1頭の通報を受け、岐阜県中央家畜保健衛生所が立入検査。
- ・11月16日、精密検査の結果、豚コレラの疑似患畜であることを確認。

◆対応方針

- ・当該農場の飼養豚の殺処分及び焼埋却、移動制限区域(発生農場から半径3km以内)の設定。
- ・移動制限区域内の農場について、発生状況確認検査を実施。
- ・発生農場周辺の消毒を強化し、主要道に消毒ポイントを設置。

豚、いのしし飼養者の皆様へ

野生いのししの侵入防止など、本病の発生予防に努めていただきますようお願いいたします。

毎日の健康観察と異常の早期発見・早期通報をお願いいたします。

**豚コレラは、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。
また、感染豚の肉が市場に出回ることはありません。**